

2006 年 11 月 13 日

記 者 各 位

アストモスエネルギー株式会社
新 日 本 石 油 株 式 会 社

南九州地区における L P ガスの物流協力について

アストモスエネルギー株式会社（社長：児玉宣夫、以下「アストモス」）と新日本石油株式会社（社長：西尾進路、以下「新日石」）は、本年締結した「液化石油ガスの物流業務協力に関する基本合意書」の具体的展開の第一弾として、南九州地区における物流協力について合意しましたのでお知らせ致します。

今回の物流業務協力においては、アストモスの鹿児島ターミナル（鹿児島県鹿児島市）を閉鎖し、同ターミナルから出荷していた年間約 5 万トンの L P ガスを、10 月出荷分より新日石の川内ガスターミナル（鹿児島県川内市）等への出荷に振り替え、アストモス鹿児島ターミナルの運営費の削減を行いました。

また、荒天等による内航船入着遅れや高圧タンク開放検査などの理由により南九州地区における他のバーター出荷基地からの出荷が困難となった場合には、緊急時の対応として新日石川内ガスターミナルから通常バーター枠を超えて出荷対応できる体制を構築いたしました。

今後もアストモスと新日石は、消費者から信頼を得られる L P ガス供給を推進していくために、更なる効率性の追求、質的向上を図るために、協力してまいります。

以上

お問い合わせ先	アストモスエネルギー(株)	企画本部経営企画部	高倉	TEL03-5221-9720
	新日本石油(株)	広報部広報グループ	佐藤	TEL03-3502-1124

- 別添資料
- 1 アストモスエネルギー株式会社・新日本石油株式会社 概要
 - 2 アストモスエネルギー・新日本石油の基地配置状況

別紙 1

アストモスエネルギー株式会社・新日本石油株式会社 概要

会 社 概 要	商号	アストモスエネルギー株式会社	新日本石油株式会社
	設立年月日	1988年1月22日	1888年5月10日
	本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号	東京都港区西新橋一丁目3番12号
	代表者	代表取締役社長 児玉 宣夫	代表取締役社長 西尾 進路
	資本金	100億円	1,394億円
	事業内容	液化石油ガスの輸入・仕入 液化石油ガスの販売 船舶の所有、賃貸借、売買	石油製品の精製・販売 ガスの輸入・販売 電力の発電・販売
	大株主	出光興産(株) 三菱商事(株)	日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口 (株)みずほコーポレート銀行、三菱商事(株) (株)三井住友銀行、(株)三菱東京UFJ銀行 東京海上日動火災保険(株)
	従業員数	364人(2006年4月1日現在)	4,398人(2006年3月末現在) (新日本石油、新日本石油精製)
	売上高	約4,000億円 (事業統合時の見込売上高)	(単体) (連結) 5兆1,777億円 6兆1,180億円 (2006年3月期) (同左)

L P ガ ス 部 門 概 要	販売数量 (シェア)	394万トン(2005年度) (21.0%)	285万トン(2005年度) (15.2%)
	輸入数量	319万トン(2005年度)	207万トン(2005年度)
	輸入基地タンク能力	85万トン	54万トン
	出 荷 基 地	輸入基地 (計10基地)	仙台※1、千葉、愛知、神戸、波方、 徳山、長崎(九液)※1
		二次基地 (計12基地)	八戸、市川、大井川、金沢、門司、 沖縄
		製油所 (計11ヵ所)	室蘭、仙台※2、根岸、富山(日海石)、 大阪※2、水島、麻里布

※1. 共同利用基地(上記2基地合計で年間取扱い数量約150万トン)

※2. 輸入基地を併設している製油所

【南九州地区の二次基地の概要】

	鹿児島ガスターミナル (廃止)	川内ガスターミナル
出荷数量(2005年度)	53,000t	42,000t
設備概要	プロパン 1,000t×1基 ブタン 500t×1基	プロパン 600t×2基 ブタン 400t×1基

アストモスエネルギー・新日本石油の基地配置状況



輸入基地

(製油所併設を含む)



二次基地・製油所

共同利用

アストモスエネルギー

新日本石油

